

## 田浦小学校保護者説明会 会議録

1 日 時 令和6年(2024年)11月29日(金) 18:00~20:00

2 場 所 田浦小学校 体育館

3 参加者 39名

4 事務局等 教育政策課 課長 飯田 達也  
教育政策課 主査 大堀 圭輔  
教育政策課 主任 志村 洸哉  
教育政策課 担当者 松本 勇人

5 議事内容

### ○飯田教育政策課長(事務局)

定刻となりましたので田浦小学校保護者説明会を始めます。

本日は、8月8日の教育委員会での校名決定、9月18日市議会での条例改正の経過等をご報告するとともに、7月に開催した保護者説明会、10月9日に開催した合同学校運営協議会でのご意見を踏まえた通学の安全対策等についてご説明をします。

まず、確認をしますが、会議録作成のために、録音します。

また、会議録等はホームページにて公表します。

それでは、資料のご説明をします。

### ○大堀教育政策課主査(事務局)

それでは資料の説明をします。

資料の4ページをお開きください。

学校名決定についてです。

教育委員会では、8月8日に開催した教育委員会8月定例会及び9月18日に開催した市議会9月定例議会において、田浦小学校と長浦小学校の統合後の学校名を長浦小学校に決定しました。

学校名決定までの経緯です。

まず、学校名の募集をし、応募数が225件、候補数が43候補集まりました。

5ページをご覧ください。

その後、合同学校運営協議会で絞り込みを行っていただき、43候補から以下の表の6候補に絞っていただきました。

6ページをご覧ください。

その後、8月8日に開催した教育委員会定例会において、統合後の学校名を決定する議案を提出しました。

学校名の候補が1つではなく6候補であることから議決に当たっては、過半数を得るま

での投票を行うこととし、投票の結果、長浦が3票、按針が2票となりました。

長浦が過半数を得たため、学校名案として長浦を選定し、教育委員の採決の結果、総員一致により長浦に決定したという経緯です。

その後、市議会9月定例議会において、統合後の学校名を長浦小学校とする市立学校設置条例の改正議案を提出し、9月18日の本会議において議決されたという経緯です。

7ページをご覧ください。

教育委員会定例会における学校名の決定理由についてです。

8月8日の教育委員会定例会では学校名が6候補となることから、教育委員による投票によって決定しています。

教育委員には、令和4年5月から田浦地域における教育環境整備の検討状況をさまざまな場面で報告しています。

学校名の決定に関しては、提出した議案及び説明資料に加え、これまでの報告等を踏まえ、各委員が総合的に判断し投票した結果、学校名が決定しました。

長い歴史の中で地元に着していることから、学校名を残した方が良いという意見と、統合に関して、元の学校名ではなく新しい学校名にした方が良いという意見があった中で、長浦に3票、按針に2票という投票結果になりました。

学校名の決定についての説明は以上です。

次に通学の安全対策についての説明です。

10ページをお開きください。

安全対策の概要についてです。

1として、京急バスの通学定期券代の全額助成をします。

助成対象者は現田浦小学校区の全児童、1、2年生及び特別支援学級の保護者のうち、付き添いが必要な方です。

助成期間は統合後12年間、令和7年度から令和18年度になり、市内でも既に通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後全市的な遠距離通学に対する方策を検討していきます。

12年間の助成期間終了後はこちらの方策を適用する予定です。

2として、停留所における児童の見守りを配置します。

なお、見守りは、シルバー人材センターに依頼する予定です。

3のバス車内等における対策としては、全児童に防犯ブザーを配布します。

11ページご覧ください。

4の国道から安針塚への車道への道路標示についてですが、バスを降りて、国道16号線から安針塚駅に向かう道路は、児童の通行が増えるため、車道へ「児童注意」等の標示を付け、通行する車両への注意喚起を行います。

12ページです。

路線バスを利用する理由については京急バスの実績、安全安心の担保、今後も安定的で持続可能な仕組みとしているため、公共交通機関である京急バスを活用するという考え方です。

13ページをお開きください。

前回の保護者説明会、合同学校運営協議会においてご意見、ご要望をいただいていますので、主な対応についてまとめたものです。

登校シミュレーションについて、登校班の人数の割り振りを想定した形にしました。

見守り人数を増員し、使用する全ての停留所に2名ずつ配置します。

下校の停留所は、田ノ浦のみを使用することとします。

池ノ谷戸停留所付近について、自衛隊と調整した結果、自衛隊入口前の歩道も待機場所として使用することの了承を得ました。

自衛隊病院建替工事に伴い、車両出入口に警備員が配置されることを確認しました。

京急バスと調整し、登校時の増発2便については、ご要望どおりJR田浦駅のロータリーにバスが乗り入れていただけることとなりました。

警察と調整し、国道16号から安針塚駅までの道路の現地調査と対応をご検討いただけることになりました。

詳細については後ほどご説明します。

16 ページをお開きください。

登校時の対応です。

前回から変更があった部分だけを申し上げます。

2つ目の黒丸で、増便分を含めて、池ノ谷戸停留所発の時間が7時20分から10分ごとに4本のバスが登校に利用できると思われませんが、登校班の実施状況も踏まえ、増便2本をメインに登校する想定とします。

登校班は、遅刻・欠席を把握せず、時間になったら停留所に向かうことを想定しています。

17 ページをお開きください。

田浦小学校からご提案いただいた、登校班で利用するバスの想定をしています。

4本のバスが登校に利用できると思われませんが、増便分の2本に振り分けています。

人数については、現在の1年生から5年生で作成しているため、この人数に新1年生の十数人程度が加わる想定です

資料の上の1の表が登校班の地区別・学年別の児童数の表です。

下の2の表がそれぞれ班ごとに乗車するバスの振り分けと人数の表です。

1班が6丁目の児童で、1年生から6年生までで8人います。

その8人については、7時40分池ノ谷戸発のバスに乗るという見方です。

18 ページについてです。

バスの増便等の状況で、これまでと変わりません。

池ノ谷戸では7時30分と7時40分のバスが増便されます。

増便分のバスは北部共済病院から出発して汐入駅までの区間を運行するバスです。

19 ページです。

池ノ谷戸停留所の乗車時の状況です。

見守りの人を2人配置します。

また、待機状況によって自衛隊の入口付近の歩道も使用を想定しています。

右側の航空写真の上の方にある自衛隊の入口に並ぶところに歩道がありますので、こちらにも並べるよう、自衛隊の了承を得ています。

下の部分で並び、人数によって並びきれないときは自衛隊の前に並ぶということです。

20 ページをお開きください。

田浦郵便局停留所の乗車時の状況です。

こちらにも見守りを2人配置します。

前回の資料において傘を差した場合の計算が間違っておりましたので、改めて試算して

います。

想定したような形で並べれば 60 人程度が待機できると考えています。

また、前回、近隣の歯科にもお声掛けいただきたいと話がありましたが、敷地の状況を見ると奥まっており、通路に装飾等もあります。

目が行き届かないことや装飾の破損といった心配等もありますので、現時点ではお声がけしていません。

21 ページをお開きください。

当初想定していなかった JR 田浦駅のロータリーの中の停留所です。

ご要望として、国道沿いの停留所は狭くて危険だということで、JR 田浦駅のロータリーを使えないかというご要望をいただいております。

京急バスと調整の結果、路線バスを乗り入れていただけるというお話をいただきましたので、増便分 2 本のみについては乗り入れていただきます。

ただ、どこに停車するかというのはまだ調整中ですので、現時点での停留所がこのような配置になっているという写真です。

また、乗り入れる場合バスのダイヤも若干変更になりますので、京急バスと調整しているところです。

22 ページをお開きください。

当初想定していた国道沿いの JR 田浦駅停留所です。

ご意見として、歩道が狭く危険だということがあり、ロータリーに乗り入れることになりましたので、こちらは使用しない考えです。

23 ページをお開きください。

田ノ浦停留所における登校時の降車についてです。

こちらについても見守りの方を 2 人配置し、安全に降車できるような形にしたいと思います。

24 ページについてはこれまでもお示ししているとおり、停留所を降りてから歩道橋を渡って学校に向かっていた道です。

25 ページをお開きください。

説明会等で、停留所から学校までの子ども 110 番の家の配置状況を教えてほしいといったご要望がありましたので、長浦小学校からいただいた資料を掲載しています。

28 ページをお開きください。

下校シミュレーションの想定です。

変更があった部分としては、一番下の黒丸のとおり、下校に使用する停留所は田ノ浦のみとしています。

学年で下校時間が異なり分散されることと、月曜日等で全学年 5 校時に下校の際は、掃除の有無で分散させることを予定しています。

また、学童クラブや放課後子ども教室を利用する児童もいるため、更なる分散も想定されます。

29 ページをご覧ください。

京急バスが学校の日課に合わせて 5 校時、6 校時の終了時に 2 便ずつ、最大 4 便の増便を想定しています。

現時点でこれまで示している時間と変更はありません。

田ノ浦停留所で 14 時 52 分、15 時 2 分、15 時 52 分、16 時 2 分が増便分という設定です。

31 ページをお開きください。

現在学校でご検討いただいている、令和7年度の日課の案です。

下校時間の分散方法として日課や掃除を分けていただくことによる分散を考えています。

14時20分が5校時で掃除なし、オレンジの部分です。

14時35分が5校時で掃除あり、青の部分です。

15時10分が6校時で掃除なし、黄色の部分です。

15時25分が6校時で掃除あり、緑の部分です。

それぞれ時間を分散しています。

32 ページの表が、この日課に基づき、どの時間のバスに乗るのかという表です。

月曜日、掃除なしで14時20分に終わるオレンジの方は、14時42分と14時52分のバスが対象です。

掃除ありで14時35分に終わる青の方は、14時52分と15時2分が対象、といった見方をします。

火曜日と木曜日、黄色の部分が15時10分に終わりますが、対象となるバスが15時42分と15時52分になり、少し時間が空いてしまうという状況も現時点ではあります。

これは、京急バスから増便分としていただいている時間と学校の日課の案を並べたときにこのような状況が発生しているということですので、今後、学校の日課調整及び京急バスの時間設定の調整により、ちょうど良い時間に調整したいと考えています。

あくまで現時点で並べた表であるということをご了承いただければと思います。

33、34 ページは、下校時の田ノ浦停留所です。

見守りを2人配置したいと考えています。

通学の安全対策については以上です。

続いて36 ページ、指定変更承認地域についてです。

港が丘1丁目と田浦町6丁目については船越小学校にも通えるように指定変更承認地域として設定します。

通学開始については令和7年4月から、手続きの開始については令和6年12月からを予定しています。

こちらについては新1年生に対して、11月9日に田浦小学校区の未就学児保護者向けの説明会を開催し、説明を行いました。

37 ページは指定変更承認地域設定の区域です。

38 ページは、指定変更承認基準の一覧表です。

ただいまご説明した承認地域のほか、ご覧の2～13番までの申し立て理由があります。

特段の事情がある場合は、教育委員会の支援教育課にご相談ください。

40 ページ、放課後子ども教室についてです。

(1) の概要です。

放課後子ども教室は放課後に使われていない教室やグラウンド等を活用し、児童に遊び、学習、交流、体験といった放課後の活動の場を提供し、子どもたちの育ちを支えることを目的とする事業です。

ランドセルを置いて過ごせる場所です。

横須賀市職員であるコーディネーターが中心となり、地域のボランティアである見守りサポーターの方々とともに活動の見守りを行います。

保護者の就労時間中の預かりを目的とした事業ではありません。

(2) の参加対象者は、当該小学校に在学する1年生から6年生の児童です。

(3) の開設日・開設時間は、開設日が給食のある日です。

給食のない日、学校行事の日、学校が休みの日は開設しません。

開設時間は、4月～9月は放課後から午後4時30分まで、新1年生に限り、4月と5月は午後4時15分までの利用でお迎えが必要です。

10月～3月は放課後から午後4時までです。

(4) の参加費は無料です。

(5) の参加方法等は、保護者から電子申請により市へ事前の利用登録が必要で、参加当日は、利用登録後に市から保護者に郵送される参加カードを持参します。

参加カードの持参をもって保護者の同意があったものとみなします。

お迎えは、1年生の4月と5月以外は不要です。

児童のひとりでの帰宅に不安がある方は昇降口までお迎えが可能です。

44 ページ、学区内の学童クラブについてです。

現田浦・長浦小学校区内には「学童保育きりんグループ」と長浦小学校敷地内に設置されている「長浦小学校放課後児童クラブ」の2つの学童クラブがあります。

なお、きりんグループにおいては、長浦小学校から下校時間に合わせた段階的な出発時間を設定し、マイクロバスによる移送を検討しているとのこと。

長浦小学校放課後児童クラブの令和7年度利用見込みは、定員36人、利用者27人、空き9人、保護者のお迎えが必要です。

学童保育きりんグループの令和6年度利用状況は、定員39人、利用者30人、空き9人、1～3年生は保護者のお迎えが必要です。

4～6年生は登録すれば一人で帰宅することも可能です。

46 ページ以降は、説明会や合同学校運営協議会でいただいたご意見、ご要望についての回答です。

問1、停留所の地面に色を付けるなど、並びやすい工夫をしてほしい。

また、停留所付近の柵をしっかりさせてほしい。

というご意見です。

停留所の地面の色や表示の設置可否については、国道事務所では、対応不可との回答をいただきました。

対応策としては、見守りの方が停留所での整列を促すとともに、学校において、整列マナー等の指導を行います。

また、柵については、現時点で基準を満たしているため、更なる対策は困難であると国道事務所に確認しています。

問2、田浦郵便局の停留所の待機には、近隣の事業所等にも協力を得てほしい。

というご意見です。

調整の結果、田浦郵便局と、田浦教会にバス待機時の敷地内利用の協力を得られることとなっています。

歯科については先ほど申し上げたように、現在保留しています。

47 ページです。

問3、池ノ谷戸停留所付近は、自衛隊病院建替工事に伴う大型車両が心配。

また、自衛隊等の自転車が通るので危険である。

というご意見です。

自衛隊病院建替工事に伴い、車両出入口に警備員が配置されることを確認しました。

また、自転車での通勤・通学については、自衛隊員は歩道を走らないように周知しているとのことですが、児童が停留所に待機していることも含めて、改めて周知していただくこととなりました。

問4、池ノ谷戸の歩道後ろの側溝に蓋をして待機場所を作れないか。

又は、自衛隊の入り口付近の歩道を使わせてもらえないか。

というご意見です。

先ほどの説明のとおり、自衛隊との調整の結果、自衛隊入口前の歩道も待機場所として使用することの了承を得ました。

側溝の蓋は、大規模な工事となるため実現は困難と考えます。

48 ページです。

問5、停留所付近で体調不良やトイレの対応が必要である。

というご意見です。

停留所付近の事業所や施設は学校において調整を進めています。

池ノ谷戸停留所では花森さん、田浦郵便局停留所では社会館等と話し、前向きにご検討いただいています。

問6、田浦駅は国道沿いではなく、ロータリーの停留所を利用した方が安全である。

というご意見です。

京急バスと調整の結果、登校時の増発2便については、JR田浦駅のロータリーの停留所に乗り入れていただけることとなりました。

そのため、登校時に乗車する田浦駅停留所は、国道側ではなくロータリー側を使用します。

49 ページです。

問7、田ノ浦の停留所から歩道橋で別の道に行かないよう、そこにも見守りを配置してほしい。

というご意見です。

通学路の指導の中で、通学路以外の道に行かないように指導をしていきます。

見守りの配置については、新たに発生する、バス通学に係わる停留所付近のみの配置を予定しています。

問8、上りの田ノ浦停留所前にコンビニができる予定と聞いている。

車の侵入の場所によっては、対策を検討する必要があるのではないか。

というご意見です。

現時点では建築計画の状況が不明なため、状況を注視しつつ必要な対策を検討します。

50 ページです。

問9、停留所の見守りだけではなく、小学校から停留所まで、せめて1年生は見守ってほしい。

というご意見です。

通学路の指導の中で、通学路以外の道に行かないように指導をしていきます。

見守りの配置については、新たに発生するバス通学に係わる停留所付近のみの配置を予定しています。

問10、バス通学が基本ですが、歩いて下校することを想定して注意事項など、ソフト面の対策を検討してほしい。

というご意見です。

通学路の指導や、安全マップを活用するなどが考えられますので、学校と調整します。

51 ページです。

問 11、見守りの手配について、具体的なことが決まるのはいつなのか、どこまで確保できるのかといったことを示してほしい。

というご意見です。

事務手続き上、見守り事業者であるシルバー人材センターとの契約は令和7年4月1日付となりますが、令和7年4月から滞りなく開始ができるよう、今年度中に手配していきます。

問 12、停留所の見守りの人数が少ないので増やしてほしい。

というご意見です。

基本的には、各停留所2人ずつ配置するように増員します。

問 13、停留所の見守りは警備会社に委託し、警備員としてほしい。

というご意見です。

交差点等で車両の停止や誘導をする際には、警備員とする必要があります。

しかし、停留所の見守りは、停留所付近の児童を整列させる等の安全かつ適正な利用の指導であるため、シルバー人材センターに依頼する予定で、警備員ではない人が停留所の見守りをする予定です。

52 ページです。

問 14、見守りについて、緊急時の対応に不安がある。

というご意見です。

受託事業者であるシルバー人材センターとマニュアル等を作成し緊急対応していきます。

問 15、停留所の見守りは、子どもの顔が分かる大人の配置が必要だと思う。

地域や保護者の輪番という形はとれないか。

というご意見です。

輪番の実施可否については、地域や保護者の皆さままでご検討をお願いします。

子どもの顔が分かる大人の配置ということですが、シルバー人材センターの仕組みとしては、地域の60歳以上の方が会員として登録し、その会員が請け負った仕事を行うという形です。

そのような形であれば、この辺りの地域の方々に子どもの顔が分かる大人の方が配置することもできると考えています。

53 ページです。

問 16、見守りの人に、バス内まで乗車が可能か検討いただきたい。

というご意見です。

登校時に利用を想定しているバスのうち、最後の便は増発ではない既存の便になる想定であり、こちらには見守りが乗車できないかと考えていますので、実施の可否について検討します。

問 17、バスの中には大人が必要だと思う。

全てのバスに付き添いができないか。

というご意見です

有償ボランティアである教育支援臨時介助員が活用できると考えています。

人材については、現在すでに田浦小学校や長浦小学校の教育支援臨時介助員をさせてい



る方などに、学校からお声がけしていただく形です。

児童の実態を踏まえ、学校と相談し検討します。

54 ページです。

問 18、バス車内の対策として、京急バスに「防犯カメラ監視中」といった掲示をするなど、犯罪抑止になるような対策の検討をお願いしたい。

というご意見です。

京急バスに要望として依頼します。

問 19、バスの乗り過ごし防止のため、バス運転手に車内放送を手厚くしてもらえないか。というご意見です。

京急バスには、児童が通学にバスを利用することを伝えてあり、ご配慮いただける旨、回答をいただいています。

また、京急バスに協力いただき、11月20日にバスの乗り方教室を実施し、バスの安全な乗り方や、実際のバスへの乗車体験等を行いました。

55 ページです。

問 20、登校時に吉倉の停留所を使うことも検討してほしい。

吉倉から歩いてしまう児童もいると思う。

吉倉の交番に協力してもらい、警察に立っていてほしい。

というご意見です。

登校時の吉倉停留所は、国道の横断を含めて道路の横断が3回あることから、通学路の安全性の観点から、使用しないこととします。

問 21、田浦の谷戸の奥から出てくる児童もいるため、登校班ができないか。

というご意見です。

登校班の実施を想定し、学校で検討しています。

56 ページです。

問 22、トンネル内は狭い、車との狭間が低い、漏水があるところは泥がたまって歩きにくい。

地域で清掃日を作って、国道の清掃を地域がすることは可能か。

というご意見です。

漏水箇所の確認をしましたが、歩行が困難なほどの状況は見受けられませんでした。

掃除については、定期的に地域で行っていると伺っています。

問 23、トンネル内の自転車の通行に対する対策をとっていただきたい。

看板が出入口に設置されているとのことだが、ソフト面での対策も検討いただきたい。

というご意見です。

トンネルの出入り口には、既に自転車は降りて通行する旨の表示がされています。

ソフト面での対策は、交通安全対策の所管部署で、自転車マナーアップ月間等の取り組みを実施しています。

その他、警察や交通安全協会に相談します。

57 ページです。

問 24、国道16号から、安針塚まで車が多いので警察に交渉してほしい。

というご意見です。

警察へ車の通り抜けについて相談に行きました。

今年中に警察が2回程度現地調査を行い、その結果をもって対応をご検討いただける状

況になっています。

その他に、市において、国道 16 号から安針塚駅に入る道路に、注意喚起の道路標示を行う予定です。

問 25、以前、他地域において登下校時に児童が登下校する旨のアナウンスが流れ、それを聞いて地域の見守りが参集していた。

そのようなアナウンスが流せないか。

というご意見です。

防災行政無線を使用してのアナウンスで、日常的に放送を流すと混乱を招くこと、下校時間が毎日違う状況であること等を勘案すると、実施は困難だと思われま

す。58 ページです。

問 26、安全確保等、統合後薄れないよう継続的な取り組みをお願いしたい。

というご意見です。

毎年、通学路の安全点検を行っているため、継続して安全確保に努めていきます。

59 ページは指定変更承認地域についてです。

問 1、指定変更承認地域の範囲外の子も、友人関係で変更可能に制度を拡大してほしい。

というご意見です。

今回の指定変更承認地域については、児童の通学距離や地域活動への影響を考慮し、最小限の範囲で設定しています。

「友人関係」を理由とした指定変更については、承認地域設定の主旨や、「友人関係」の判断基準が難しいこともあり、指定変更承認理由として設定することは、申し訳ありませんができません。

なお、特別な事情があり、長浦小学校に通学できないということであれば支援教育課にご相談ください。

60 ページはその他です。

問 1、新 1 年生向けにも説明会を行ってほしい。

というご意見です。

新 1 年生に向けての説明会は、11 月 9 日に開催しました。

また、例年 2 月に開催している新入生就学説明会においても説明します。

資料の説明は以上です。

続いて、岡部田浦小学校長からご説明があります。

## ○岡部田浦小学校長

私からは学校統合に向けての取り組みということで、現在行っている児童の交流の様子や、先日行ったバスの安全教室と乗車シミュレーションについてご報告します。

長浦小学校との交流についてですが、統合に向けてということのみではなく、一緒に学習することで効果や価値があるという内容で交流することを大事に計画いたしました。

その中で、停留所 3 つ分の距離とともに、1 時間に 2 本のバスによる往復という時間的な制約もあり、回数は多くできませんが、一つ一つの交流を充実するように取り組んでいます。

10 月 7 日は 3 年生が長浦小学校に出かけました。

長浦小学校の 3 年生は、自分たちの学校を知ってもらおう、伝えようという学習を総合で取り組んでおり、ミライシードの中のオクリンクを使って発表してくれました。

写真やクイズなど、とても分かりやすい発表で、田浦小学校の子どもたちも刺激を受けている様子でした。

お互いに自己紹介や質問をして、楽しい時間を過ごしました。

このときの刺激を糧に、現在、3年生は総合の発表資料を作成しています。

10月18日は、10月の合同宿泊学習に向けて田浦小学校にて自然交流会を行いました。

自己紹介を兼ねた爆弾ゲーム、みんなでパラシュートを特活室で楽しみました。

11月8日は、4年生が長浦小学校に出かけました。

写真右は田浦郵便局前の停留所に約20名が並んだ様子です。

長浦小学校では門から入った途端に、休み時間中の子どもたちが駆け寄って出迎えてくれました。

田浦の子どもたちもそれで緊張がほぐれたようでうれしそうでした。

チームの顔合わせの時間では、和気あいあいと自己紹介が始まり、すぐに打ち解けていきました。

ゲームが終わる頃には、もっとやりたい、一日中交流しよう、という声も聞こえ、充実した楽しい時間を過ごしたことが伝わってきました。

4年生は、初めは緊張している子もあり、田浦小学校に残りたい、長浦小学校には友達もいないし行くのが不安と思っている子も多かったのですが、交流後は長浦小学校の4年生と関わることを楽しみにするようになりました。

11月27日、長浦小学校の2年生が田浦小学校に来てくれました。

この日の2年生は朝からテンションが高く、交流を楽しみにしていることが分かりました。

子どもの中にはドキドキしてあまり眠れなかったという子もいました。

長浦小学校の子どもたちが来校すると大興奮で、時間どおりに自慢のゲームを用意して準備しており、緊張とワクワクが入り交じる表情でした。

授業が始まると静かな空間が次第ににぎやかになり、最後は両校の児童の笑い声が部屋いっぱい広がっていました。

終了時刻を伝えると、もっと遊びたかったと残念がる子どもたちでした。

別れを惜しむようにお互いに手を振り合って今回の交流は終わりました。

11月29日、本日です。

本日の5、6時間目、6年生は12月4日に行われる市内児童ボール大会に向けて、またお互いの学校の良さを下の学年に伝えて安心してもらえるように、長浦小学校で交流会を行いました。

本番のボール大会では両校の対戦はなく、対戦相手は船越小学校のチームです。

打倒船越小学校チームを合言葉にプレボール大会で技を磨きました。

また、交流イベントとして、両校の混合チームを編成し、ドッジボール大会で親睦を図りました。

それぞれの学校に帰ってからは交流の楽しさを伝えながら、新しい学校作りへのアドバイスを下の学年の子どもたちにしていきます。

これが本日撮った写真で、上が田ノ浦停留所に並んでいる様子です。

約20名の子どもたちが並んでいます。

下は交流のときに撮った写真です。

6年生からは、田浦郵便局の停留所で待つのは大丈夫だった。

傘を広げると、少し狭いかもしれない。

田ノ浦停留所から長浦小学校の校門までは9分30秒かかった。

1年生なら15分くらいかかるかもしれない。

田ノ浦停留所では歩道橋の下で待った。

20名なら問題なさそうだが、もっと増えると大変だと思う。

という感想が出ています。

5年生は、12月3日に初めての交流を行う予定です。

5時間目は混合チームでのドッジボール大会、6時間目は外に出て鬼ごっこやだるまさんが転んだができればということで、一緒に遊ぶ予定です。

1年生は12月20日に交流を予定しています。

すごろくを作って長浦小学校の子どもたちが来てくれるのを待ちます。

紹介しながら遊ぶ予定です。

次に、バス安全教室、バス乗車シミュレーションを実施したので、その振り返りをご報告します。

まず、その課題と改善策、解決策について考えていきました。

実施して見えた課題の主なものです。

1、車内の混雑について、詰めて乗ることの声かけが必ず必要である。

無理に乗るのではなく、次の便を待つ余裕も持てるよう、バスの増便や登校時刻の検討ができないか、また、増便だけでも児童専用ができないかという案も出ました。

2、乗降時間が大幅にかかることについて、事前に停留所への案内掲示や、車内でのアナウンスをしてほしいということが出ました。

3、乗降時の安全について、特に降りるときに飛び降りたり、飛び出したりしないような見守りや声かけが必要である。

4、バス内の安全について、奥から詰める乗り方や、降りる際に間を開けないなど、児童だけでは判断が難しく、大人の乗車が必須であるという意見が出ています。

続いて児童のアンケートです。

これからの役に立つと思うことを挙げてもらいました。

乗り方の勉強になった。

どのように詰めたり座ったりするかが分かった。

行き先の確認の仕方が分かった。

雨のときの乗り方が分かった。

ルールやマナーが分かった。

素早く乗る練習ができた、などが出ました。

次に心配なことや困ったこと、質問などです。

乗り遅れることが心配。

他のお客さんもいて、乗りきれなくて遅れたり、迷惑がかからないか心配になった。

他の人にクレームを言われたらどう対応するか。

混んでいるときは降りるのも大変だと分かった。

定期券を忘れたらどうすれば良いですか。

降りる場所を過ぎてしまったらどうしたら良いですか。

バスで酔ったらどうすれば良いですか。

バスに忘れ物をしたらどうしますか。

バスの中で捕まるところがなかったらどうしますか。

という心配事が出ています。

また、登校班については班の人が遅れたらどうするか、何分発のバスに乗れば良いか知りたい、どの停留所から乗るのが分からない、などの質問が出ています。

これについては、登校班が確定した段階で細かいルールを確認したいと思います。

基本的には班の人が遅れても待たず、人数把握のみと考えています。

乗る停留所は事前アンケートに書いていただいた停留所ですが、学区外の方については学区内の停留所で、自宅に一番近い停留所の班に入っています。

今後そのようなことも調整していきます。

停留所でトイレに行きたくなった場合や具合が悪くなった場合についてです。

池ノ谷戸停留所についてです。

リリーフ花森さんの前が朝7時から8時の間は車が通らないので、この場所を想定してくださっているそうです。

ただし、その時間はまだお店が開いていません。

トイレなどは、ファミリーマートさんのドアにはセーフティステーションということが書いてあって、子どもが駆け込むなどといったことを受け付けますということで、そのようなお話をさせていただきました。

田浦郵便局停留所についてです。

社会館では、社会館の園庭に入るもう一つのドアを設置してくださるという計画があるそうです。

子どもたちが園庭で待てるようにしたいと思います。

なぜ園庭かというと、7時から保育園が開くため、園庭側の扉からトイレを利用できるよう想定してくださっています。

ただ、園庭側は4、5丁目方面からの児童は少し遠いので、8時半ごろまでは車が入らない活動センター前のスペースも集合場所にできるということをおっしゃっています。

田浦駅停留所は増便分のみ駅構内に入ってくださいことになりましたので、トイレは駅のものを使えると思います。

待つ場所については、今後バスの乗降場所が決まってから検討したいと思います。

次に、池ノ谷戸停留所付近のスペースの状況です。

自衛隊病院の工事が始まっていて、当初想定していたスペースが柵の中に入り、歩道が狭くなっています。

想定とは違う状況になっているということが分かりました。

そのため、バスの中扉から乗ることを考えて想像してみると、写真左側赤印の場所にしか並べないのではないかと思います。

下り車線が写っていますが、下り車線ということは黒い大きなボックスが左側に写っていて、その前後はガードレールが切れています。

手前が降りる方の前扉、後ろが乗る方の後ろ扉ということになると思いますので、並べる所は赤い場所しかないだろうと思います。

ここもしっかり見守らなくてはいけないと思います。

資料 50 ページには、新たに発生するバス通学に関わる停留所付近のみの見守りと書いてあります。

このようなことを全て総合すると、集合場所や待ち合わせ場所、バス内の見守りは各ポイントに必須であると改めて感じました。

これらのマンパワーは、予算的に市では賄いきれないとすれば、せめてボランティア募集については、どこがやると決めていかないと、これだけのマンパワーは補いきれないと改めてバスの乗車のシミュレーションを通して感じたところです。

最後に、計画中の統合に関わる集会や式の予定について報告します。

先ほど説明にあった長浦小学校の保護者説明会は2月6日です。

2月6日に新1年生の説明会があり、その前に現在田浦小学校に通われているお子さんの保護者の方向けに説明会を実施する計画です。

3月20日の春分の日、地域や卒業生の方向けに、校舎見学の会を開きたいと思います。

それに引き続き、地域来賓向けということでご招待状を出した方のみですが、感謝の会を設けるつもりです。

3月25日、終了式の日ですが、午前中に修了式とあわせて感謝の会を開きます。

あまり長い時間にはならず、スペース的に制限があるかもしれませんが、児童、教職員、保護者を対象に開催します。

また、閉校式というのは必ずやらなくてはいけないということなので、この日の午後、教育委員会の方と教職員のみで行う予定です。

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

校長先生ありがとうございました。

ただいまの説明についてご質問等がありましたらお願いします。

#### ○参加者

バスの乗り方についてです。

乗り方の教室を開き、その後にシミュレーションしたと聞きました。

見に行けませんでした、子どもから話を聞くときつくて苦しくて大変だったと言います。

子どもたちは登校班のことなどもよく分からないままやっていたようで、実際にランドセルを背負って入るときつかった、奥の方の子は痛くて泣きそうな子もいたと言います。

様子の写真などがあれば見せていただきたいと思えます。

それが毎朝行われると、それだけで嫌になってしまうのではないかと思います。

それを改善していくために、何かお考えや対策方法があれば聞きたいと思えます。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

写真のデータがあるので、提供方法については校長先生と相談します。

#### ○参加者

対策のようなのは、先ほどの説明以外ではありませんか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

登校班は増便分の2便に振り分ける想定としていますが、登校の時間帯的には少し早いバスもあわせると池ノ谷戸発としては7時20分と7時50分がありますので、4本分が使用できます。

一度登校班でやって、少しきついという状況であれば何らかの分散方法も考えられると思いますので、そのような形で対応できればと思います。

#### ○参加者

シミュレーションの写真は今見られますか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

後ほど表示します。

#### ○参加者

いろいろとシミュレーションをしていただきありがたいと思っておりますが、バスは遅れることが多いです。

いろいろと時間を計算してくださっていると思いますが、遅れたバスに対して子どもたちはどうすれば良いのか迷うところがあると思います。

それに対するシミュレーションや対策はどのように想定されているのかお伺いしたいです。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

資料58ページをご覧ください。

通常、この路線のバスは内川橋から出ています。

ただし、増便分の2本のバスは北部共済病院から出発するバスですので、この2本については遅れないと考えています。

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

京急バスと相談するに当たり、内川橋から来るバスが相当遅れるというところをご相談しました。

その対応として、今回増便するバスというのは、行きは北部共済病院、帰りは汐入駅からスタートすることで、京急バスとしてもほぼ遅延というものが発生しないのではないかとお話ししており、そこは安心していただけたところだと思います。

#### ○岡部田浦小学校長

バスの遅れについては日頃感じている部分もありますし、普段使われている方からの情報によると、内川橋からのバスは遅れて来ることなので、増便分が先に着いてしまうようなこともあり得るという生の声を伺っています。

そのようなことを考えると、先ほどのアンケートの提案にも出ていたとおり、増便分だけでも子ども専用にしていただけないかと思います。

そうすれば、増便分のバスが早く来たからといって一般の方が乗るということ避けられるのではないか、という意見が職員から出ています。

#### ○参加者

田ノ浦でバスを降りてから長浦小学校までの通学路についてです。

歩いてみると分かると思いますが、かなり狭く、大人がすれ違うのも大変です。

警察との話の中で、今後通行量等を把握して必要な対策を検討します、ということで、道路標示をしていただけるということでしたが、子どもがまとまって行くことになりません。

遅刻しそうで走る子や子ども同士でふざけあったりすることもあると思うので、道路に出ることが想定されるのではないかと思います。

これまでとは違った安全対策が必要ではないかと思います。

ソフト面では教育などになると思いますが、ハード面でガードレール、ガードポールといったことも警察の対策の中に含まれているのでしょうか。

また、かなり暗い時間に通る子どもたちもいると思われませんが、蛍光ポールといったもので対応することも考えていらっしゃるのでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

交通状況については警察に見ていただいております、その状況を見てどのような対策が必要なのか、どのような対策ができるかということを検討したいと思いますので、今のご意見は警察に伝えたいと思います。

#### ○参加者

通学経路における子ども 110 番の家に、小林たばこ店があります。

いつも夕方前を通りますが、喫煙スペースになっていて通勤途中の方がたばこを吸っています。

子どもは長浦コミュニティセンターに習い事で週 1 回通っていますが、アレルギー気味なのでむせたりして通りづらく、息を止めて歩いているような状況です。

通学時間帯がどのような状況かは分かりませんが、この喫煙スペースは子どもが沢山通るようになっても継続されるのでしょうか。

通学時間帯も同じようなことが考えられるのだとしたら危ないですし、煙もすごいので不安です。

火が付いたりすることも本当に危ないので、特に通学の時間に関しては配慮していただけないかと思います。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

長浦小学校側にも朝夕の状況を確認したいと思います。

#### ○参加者

バスについてです。

増便分の 1 本前のバスに乗ると仮定した場合、長浦小学校に着くのは 8 時前だと思います。

長浦小学校は開けていただけるのでしょうか。



○大堀教育政策課主査（事務局）

長浦小学校は、現状8時に昇降口が開きます。

ただ、校門はその前に開いていますので、早く行ったとしても学校の敷地内で待てません。

今も長浦小学校に早く来られる方がいらっしゃるということですが、やはり校門を入れて敷地内の昇降口近くで待っていただいているとのこと。

○参加者

兄弟がいるのですが、例えば1人は不登校が見込まれるので船越小学校に行きたい、もう1人は通常どおりに長浦小学校に行きたい、となった場合、兄弟が別々の学校に通うことはできるのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

兄弟が別々の学校に通うことはできます。

○参加者

安全面について、いろいろと検討いただきありがとうございました。

49 ページの間8について、田ノ浦停留所付近にコンビニができる予定があると聞いていて、との質問に対する回答が、現時点では建築計画の状況が不明なため、とあります。

横須賀市が知らないわけではないと思うので、どこまで踏み込んだ結果分からないのか教えていただきたいです。

コンビニができるとしたら、あの辺りにはコンビニがないので、朝や夕方など、地域の方々は重宝すると思います。

そのような場所、そのような時間帯に子どもが行き来するということを考えると、状況を注視しつつ必要な対策を検討とは書いてありますが、もう少し何か情報がほしいです。

○大堀教育政策課主査（事務局）

開発を行う場合、横須賀市の建築関係の部署に申請があります。

そちらの部署に確認したところ、まだ何が建つかという申請が出ていないということでしたので、不明という記載をしています。

仮にコンビニができるとしたら、入口の位置や形状によって必要な対応が変わりますので、注視しつつといった表現で回答しております。

○参加者

状況が見えてきたら対策を検討していただけたらと考えてよろしいですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのとおりです。

○参加者

停留所に見守りを配置するとのことですが、それは資料に記載のダイヤすべての時間に立っていただけますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

時間単位の委託契約になります。

対象のバスが来る少し前からバスが行った後まで、子どもたちがいる時間は見守りがいるように、前後に幅を持たせるような形になると思います。

登校時1時間程度、下校時3時間程度の幅を持たせた契約と考えています。

○参加者

放課後子ども教室が、夏季の場合だと16時30分までとのこと。

下校のダイヤの時間が16時30分までは載っていませんが、最後までいる児童は見守りがいない時間帯にバスに乗車して帰ってくるようになりますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

申し訳ありませんが、見守りは学校の通常の登下校の時間に配置するという形です。

それ以降、学童や放課後子ども教室の終了の時間までは残りません。

○参加者

停留所に子どもたちを並ばせるということ自体が、教育委員会としては安全であると思えますか。

危険であると思えますか。

お答えいただきたいと思えます。

○大堀教育政策課主査（事務局）

ガードレールもあり、通常の停留所なので安全であると思えます。

○参加者

並ばせるといろいろな事故が起こります。

車が突っ込んで来ることもありますし、安全であるガードレールがあっても子どもや大人が事故に遭って亡くなってしまうということはあると思えます。

停留所の見守りに関してシルバー人材センターに委託するということですが、シルバー人材の方々のご高齢ということ。

シルバー人材センターの仕事内容を拝見しますと、草刈り、植木の剪定、家事手伝い、結婚式の招待状の毛筆、お墓の清掃といったことが書いてあります。

ホームページにはシルバー会員でも就業できる安全なものに限るといった記載がありますが、そういった方々が2人で子どもたちを50人見ることが可能なのでしょうか。

停留所の見守りに関しては警備会社の警備員をお願いしてほしいという、51ページの問13を申し上げた者ですが、シルバー人材センターで大丈夫でしょうか。

また、バスに乗った子どもたちの感想が先ほど校長先生から発表されました。

そちらにはどのようにお答えいただけるのでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

見守りに関しては、これまでもシルバー人材センターと打ち合わせを重ねており、対応が可能と伺っています。

現在打ち合わせを進めており、人材の募集をしている状況ですので、問題ないと思っています。

校長先生からご説明いただいた改善のご提案などについては、今後校長先生と打ち合わせしながら進めたいと思います。

#### ○参加者

子どもたちの不安は必ず解消していただきたいと思っています。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

心して対応したいと思います。

#### ○岡部田浦小学校長

児童アンケートの心配なことへの対応ということですが、一つ一つを見ると、このようなことがあったら心配、このようなときはどうしたら良いですか、という不測の事態が起きたときのものです。

ここには大人の存在が必要だと思っていますので、停留所の見守りだけではなく、要所に大人を配置するということが解決策だと思います。

乗車のシミュレーションで分かったことは、子どもたちは乗ると安心してそこに立ち止まってしまうので、大人の声かけがないとあの人数が乗ることはできないということです。

自分たちだけで乗ると後ろの方の人が乗れずにドアが閉まってしまうといったこともある、ということが反省で出ています。

一番大きな対応策というのは大人の配置だと思います。

#### ○参加者

16 ページの登校シミュレーションの前提についてお伺いしたいです。

登校班は遅刻や欠席を把握せず、時間になったら停留所に向かうことを想定しているのですが、これは誰が時間になったことを把握して停留所に向かうのか、その責任は誰が負うのかというのを確認したいです。

また、遅刻も欠席も把握しないのであれば、なぜわざわざ停留所の目の前の国道を渡ったところで集合することを想定されているのでしょうか。

そこで集合するのであれば、登校班を利用せずに直接停留所に各家庭から向かった方が安全なのではないかと思っています。

#### ○岡部田浦小学校長

登校班については、学校からの提案です。

今まで登校班なしで子どもたちは登校していますので、登校班とすると自由度が失われてしまうと思います。

しかし、一番心配したのは、大勢の子がバラバラと停留所に来た順に並んだときに、誰

が乗って誰が乗っていないかという把握が全くできないのではないかとということです。

そのため、一度グループごとに分かれて一定の箇所で集まり、自分の班は何人いる班で今日は何人いるのか、といった数の把握がしやすいと思ってこのような提案をしています。

ただ、そこで遅刻なのか欠席なのかははっきりすることや、誰かが来るまで待つといったことはできないと思っています。

同じ方面の子どもたちが集まって、後でその班の人が何人乗ったのか思い出せるようにというイメージの登校班です。

登校班は今までなかったもので、その運用についてはこれをたたき台として、こうした方が良いということや、登校班はない方が良いということも含めて決定したいと思います。

今のところ、グループで人数把握をするという趣旨で登校班を設定しています。

### ○参加者

通学の安全対策の概要の3で、バス車内等における対策として防犯ブザーの配布があります。

バスの車内で、一般の方とぬれた傘が当たったなどといったときに、防犯ブザーを車内で鳴らした場合、誰が助けに来てくれるのでしょうか。

間に入ってくれる方を想定した防犯ブザーでしょうか。

### ○大堀教育政策課主査（事務局）

防犯ブザーの機能としては、抑止力といったこともありますし、誰かに知らせるということもあります。

また、運転手もいますし、最後の便に見守りの方が乗る、教育支援臨時介助支援員が乗るといったことを検討しています。

付き添いが必要な保護者にも定期代が出ますので、そのような方々にお知らせいただければと考えています。

### ○参加者

今決まっている登校班というのは決定なのでしょう。

2月6日の説明会以外にも、より詰めた話をしていただけるのでしょうか。

花森に集合して時間になったら停留所に行く、そのリーダー的なことは子どもたちがするのか、誰かが時計を持って行かなければいけないのか、バスを降りてから長浦小学校まで登校班で登校するのか、そういった話は今後も行われるのでしょうか。

登校班の集合場所は停留所からすごく近いと思います。

その停留所へ安全にみんなで行くというよりは、乗った人数を把握するためだけに登校班を作るということでしょうか。

### ○岡部田浦小学校長

現在お知らせしている登校班は仮です。

今、1年生から5年生に在籍する全員の児童を入れていますが、全員の児童が長浦小学校に行くことはないので、長浦小学校に通うということが決定した時点で決定します。

例えば、一番上である今の5年生が人数を数えることになったとしても、その班には5

年生はいないかもしれません。

児童が決定しないことには細かいルールは決めきれないと思います。

通学の安全を担保するために何ができるか考えたときに、1人で行くのではなく、近くの人で登校班を作っていくというのが最初の発想です。

停留所で集合すると、その停留所から乗る班の子が全員混ざってしまうのではないかと思います、場所を変えたところで集まるようにポイントを作りました。

ただ、実際に自宅から行くときにはそのポイントが遠回りになってしまうというようなこともあると思うので、全児童の顔が見えたところでそのような細かいルールを決められると良いと思います。

#### ○参加者

下校のバスについてです。

増便を予定しているバスの乗れる定員は何人程度でしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

バスの定員ですが、車検証上は74人程度です。

ただ、安全教室をやっているとおり50人程度で混雑しており限度だというような考えです。

#### ○参加者

32ページの増便分①と②を見ると、月曜日は55人や61人と書いてあり、今のお話だと入り切らないのではないのでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

オレンジの方は14時20分に終わるので、対象の時間が14時42分と14時52分の2本です。

青の方は14時35分に終わるので、対象の時間が14時52分と15時2分のバスに乗るということで、全部で3本に振り分けられる考えです。

#### ○参加者

42分はほとんど乗れなくて、52分ももしかしたら乗れない子がいて、停留所で20分程度の待ち時間が発生するということもあり得るという認識で合っていますか。

特に夏場はきついと思っています。

下校時間のバスの乗車率はどの程度でしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

この路線のバスは安浦2丁目から内川橋であり、確認したところ、安浦2丁目から出発するバスについては、大体30人程度が乗車していました。

その上で、増便分については路線の区間を短縮していただき、汐入駅から出発します。

そのため、安浦2丁目から出発するバスより乗車人数が少ないと考えています。

また、学童クラブへ行く方は社会館が送迎等を検討されていること、放課後子ども教室を利用する児童もいることから、人数が分散されるので問題ないと考えています。

○参加者

田ノ浦停留所出発とする、という要望は可能ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

要望ということでしたら、京急バスとの打ち合わせの中でお伝えしたいと思います。

○参加者

コンビニについて、開発協議が上がってくれば把握できるということでした。

4年ほど前、京急も含めて県下一斉に停留所の安全についてランク付けを行ったことがあったと思います。

コンビニができるということであれば、出入口等の場所によっては停留所の移動も考えられると思います。

開発協議だけではなく、京急とコミュニケーションを取っていただき、停留所が変わるのであれば迅速に対応をお願いしたいと思います。

もう一点、バスの中や国道16号から安針塚駅の道路などに見守りが立てないかという話の中でマンパワーについての要望があったと思います。

教育委員会や地域の方の協力も得られるとは思いますが、役所の中でこれまで協力していただいている方以外、例えば社会福祉協議会にボランティア登録されている方との調整は行っていますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

停留所の移動の可能性については、京急バスと相談したいと思います。

見守りについて、名前が挙がった社会福祉協議会等にもご協力いただけるようであれば相談したいと思います。

そういった団体とは別に、長浦地域で東長浦町内会を中心に町内会長、子ども会、老人会の集まりがあり、見守りを手配できないか、という依頼文を出してご検討いただいています。

○参加者

バスの話や登校下校の話が多く出ましたが、このタイミングで保護者説明会があるということは、そろそろ登下校とは違う話も気になっているのではないかと思います。

皆さま気になっているところがあれば、この機会に質問していただければと思います。

○岡部田浦小学校長

通学の安全以外で本日説明会を開催している意義としては、36ページにある指定変更承認地域の説明があります。

12月2日からお手続きを開始するということが書いてあります。

田浦町6丁目や港が丘1丁目の方で、長浦小学校ではなく船越小学校に行くことを選択される場合は手続きが必要ということです。

学校では登校班を作成するためのアンケートの中に、現状のお考えに関する質問を入れましたが、それで決定ではありません。

ご相談がある方は支援教育課へ、というお話がありましたが、支援教育課に行く前にまずは学校にもお声掛けをいただければと思います。

これについては、締切日は設けられないと思います。

学校の都合としては、クラスの数を決めなくてはいけないので、12月中にお手続きいただいた人数をもとに来年の体制を考えていきます。

ただ、その後も悩まれる方がいると思いますので、相談に来ていただければと思います。

本日のもう一つのポイントはこの指定変更についてだと思いますので、この制度についてよくご確認いただければと思います。

#### ○参加者

田浦小学校の子どもたちが長浦小学校に通うまでのことを話し合っていると思いますが、通った後のことが想像つかず、上手くなじめるか分かりません。

例えば、統合した当初は、2クラスになる学年は田浦小学校と長浦小学校の児童を分けたクラスを作るといったことはできないでしょうか。

そういった前例があると聞いたことがあります。

#### ○岡部田浦小学校長

二つの学校が統合するときクラスを別々のままにするということはないと思っていました。

ただ、そのような前例もあると伺いましたので、調べた上で本当にできることなのか、それが本当に子どもたちのためになることなのか、保護者の方々と一緒に考えていきたいと思っています。

#### ○参加者

バスの増便を2便用意していただければ、そこだけは確実に子どもしか乗れないということを確認してほしいです。

そこだけでも確保していただければ、安心安全は図れるかと思いますので強く希望します。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

京急バスに要望したいと思います

#### ○参加者

本日いろいろな質問が出て、いろいろな要望を受付してくださったのは分かりますが、実際に統合するまで数か月というところに来ています。

要望として伝えた結果について、期限を設けて保護者は具体的なお答えをいただけますか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

今後、定期券の交付の手続きについてご説明しなければいけないと思っています。

こちらは京急バスと調整中で、目安としては2月頃に定期券の説明ができればと考えています。

これまでも説明会を行い、ご意見やご要望を受け、次の説明会でお答えするということを繰り返す中で少しずつご理解を求めてきたという経緯がありますので、今回いただいた内容については次の説明会でお答えできるようにしたいと思います。

#### ○参加者

統合して子どもたちが長浦小学校や船越小学校に行きますが、新しい学校に子どもたちが行った先で、職員の大人を全員知らないとなると、相談できる大人がおらずストレスがかかると思います。

今の田浦小学校の先生たちが、転校先の学校にも半数程度行っていただけるのでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

人数は決まっておらず、先生の異動のタイミングや希望もあります。

ただ、統合先である長浦小学校に、知っている先生が必ず一定程度の割合はいるように配置したいと思っています。

#### ○参加者

学区外から田浦小学校まで車で送っており、そういったご家庭が他にもあります。

子どもがバスで通学できるのであれば送ることはやめようと思っていますが悩んでおり、統合後は長浦小学校まで車で送ろうと考える方もいると思います。

そういった子はどの程度になる想定でしょうか。

前回の説明会で、長浦小学校の近くに車を停めてはいけないという話でした。

同じ時間に車が10台程度集まってしまうのではないかと思います。

何か話し合いがあったのであれば教えていただきたいです。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

車による送迎について良いか悪いかということはお伝えしておらず、学校内への車の乗り入れについてご遠慮くださいと申し上げています。

けがやご家族の状況によって乗り入れる必要がある場合は学校に相談していただいて、乗り入れを許可しているという状況です。

現状の長浦小学校でも一部車で送迎されているご家庭があるようですが、近くに止めて降ろしてから回ってくるといったように、上手く安全にやっているようです。

#### ○参加者

児童数が倍になるので、バスによる安全な通学ももちろん大事ですが、バスをどうしても使えないご家庭もあると思います。

そのような方々がどの程度になるか、想定よりも多かっただけとなると同じ時間に集まってしまうと思います。



○大堀教育政策課主査（事務局）

学校とご相談しながら確認したいと思います。

○参加者

次の保護者説明会としては、定期券の話がメインになるのでしょうか。

それとも、今皆さまが気になっているところを解決してからのタイミングなのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

基本的には定期券についてご説明したいと思います。本日いただいたご意見、ご要望についてもできる限り回答したいと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

また、本日ご案内しているバスの時間については、今年度当初に京急バスが指定しているバスのダイヤです。

次のバスのダイヤについては1月頃に決まるということなので、それが決まっていれば増便するバスの正確な時間もお示しできるかと思います。

それでは、以上で本日の田浦小学校保護者説明会を終了します。